

高度物流”IT”人材の獲得と育成

2025年2月28日

株式会社オプティマインド

代表取締役社長 松下健

自己紹介



松下健 (Ken Matsushita)

1992年生まれ、岐阜県岐阜市出身。
名古屋大学大学院 情報学研究科 博士課程後期満期退学。
専門は、組合せ最適化アルゴリズム。
現在は、名古屋大学大学院 情報学研究科 招へい教員。

2015年にオプティマインドを創業。
トヨタ自動車、三菱商事などから約31億の資金調達を実施。

2018年にTMSをリリース。業界在籍10年経過。

会社概要



私たちは、物流の柔軟性を最大化し、荷主のサプライチェーンを能力開花させる最適化技術のプロ集団です

商号	株式会社オプティマインド（OPTIMIND Inc.）
本店	愛知県名古屋市中区栄2丁目11-30 セントラルビル 9階
設立	2015年6月22日（2018年2月 株式会社化）
資本金	1億円
調達額	31億1,300万円
従業員数	70名（2025年1月時点）

主要株主



技術アドバイザー

久保幹雄（東京海洋大学海洋 工学部流通情報工学科 教授）
柳浦睦憲（名古屋大学 情報学研究科 教授）
橋本英樹（東京海洋大学 海洋工学部流通情報工学科 准教授）

当社の使命



当たり前にモノが届くことが当たり前ではない今、
多様化し複雑化する配送ニーズに応え続けることのできる持続可能な社会を当社が下支えします

存在意義（ミッション）



実現する未来（ビジョン）



提供サービス概要



自動配車を強みとした輸配送最適化ソリューション「Loogia（ルージャ）」

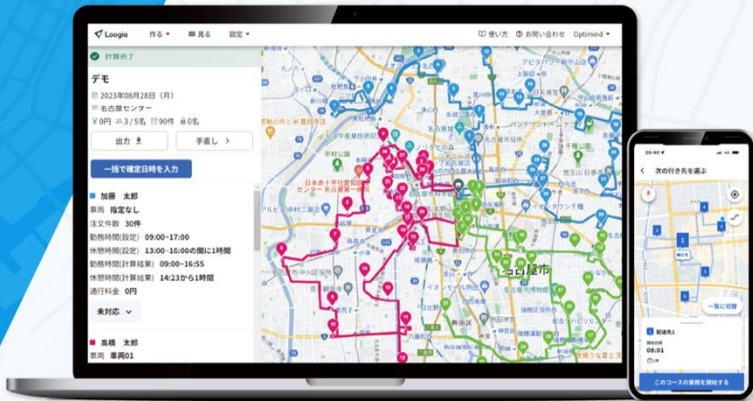
圧倒的な効率性を 実現する 配車システム

実現できる
効果

- ✓ 稼働車両台数を**10%削減**
- ✓ 配車時間を120分から**30分に短縮**
- ✓ CO₂排出量を**15%削減**



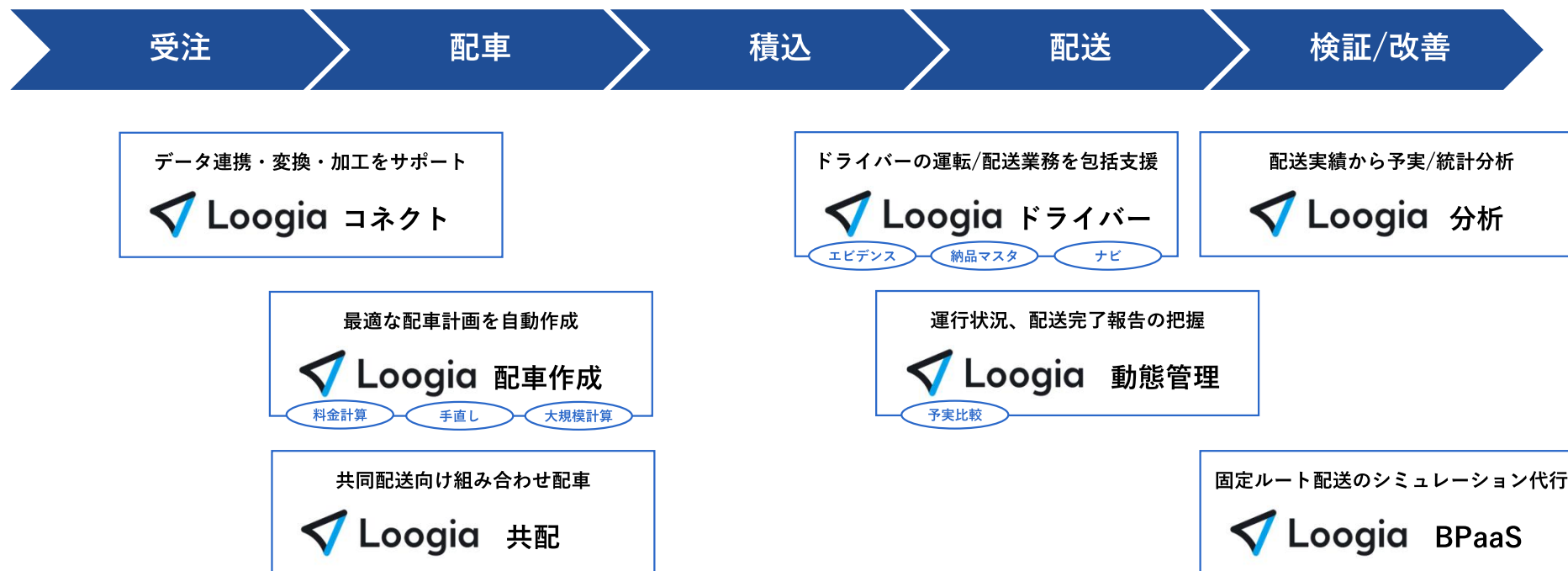
1000万回分の走行実績×AIで物流に変革を



提供サービス概要



データ連携から、配車、配送支援、共同配送、固定ルート向けサービスまで一気通貫でカバー



パッケージソフトウェアの提供のみならず、
貴社システムとの連携（ERP/WMS/OMSなど）や個別機能開発も対応いたします。

導入実績



累計200社以上、幅広くご支援させていただいております

※敬称略

	荷主企業様	運送事業者様
toB	ユアサ商事株式会社 その他 { ・大手自動車部品メーカー（従業員数 10,000名以上） ・大手コーヒーチェーン店（従業員数 5,000名以上） ・大手食料品製造販売会社（従業員数 1,000名以上）	 タキザキロジスティクス株式会社 TAKIZAKI LOGISTICS CO.,LTD その他 { ・大手運輸サービス業（従業員数 10,000名以上） ・大手特積み事業者（従業員数 5,000名以上） ・大手食料品販売会社（従業員数 1,000名以上）
toC	 その他 { ・イケア・ジャパン株式会社様 ・大手LPガス販売会社（従業員数 2,000名以上）	 その他 { ・大手家財系運送会社（従業員数 2,000名以上）

本日の流れ

1. 高度物流”IT”人材の必要性
2. 高度物流”IT”人材の定義
3. 高度物流”IT”人材の確保
4. 高度物流”IT”人材の人間性
5. さいごに

本日の流れ

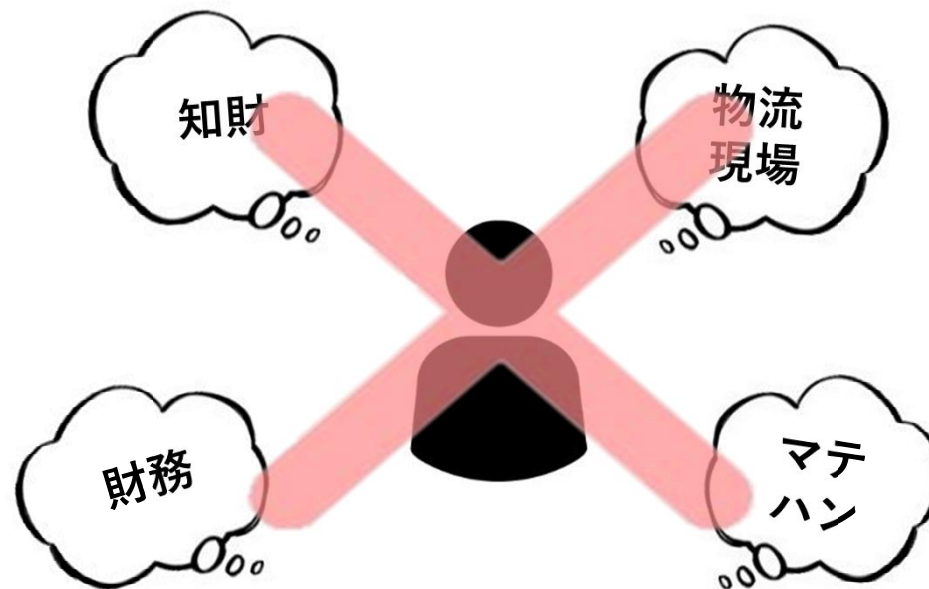
1. 高度物流”IT”人材の必要性
2. 高度物流”IT”人材の定義
3. 高度物流”IT”人材の確保
4. 高度物流”IT”人材の人間性
5. さいごに

高度物流”IT”人材の必要性

高度物流人材は、一義ではない

物流戦略、物流現場を支えていく「高度物流人材」

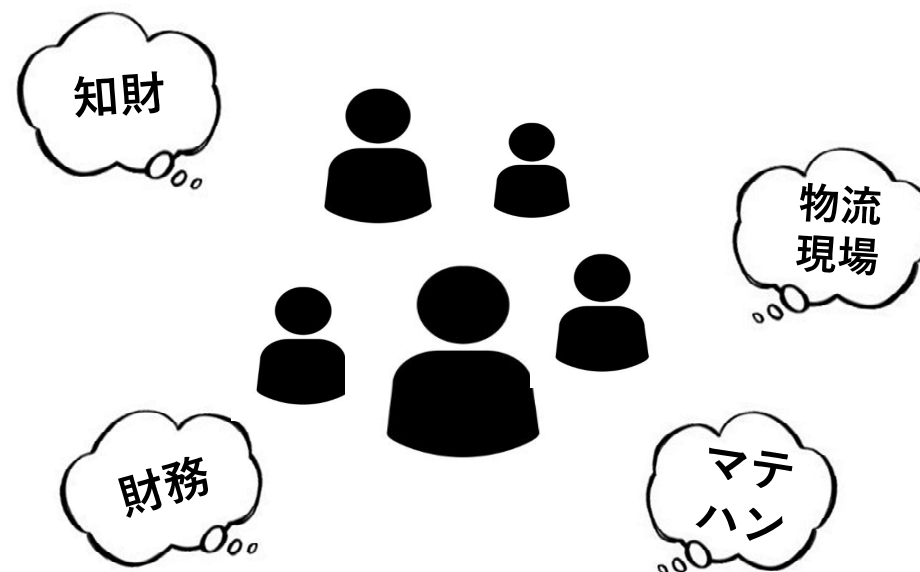
高度物流人材 = すべてを網羅したスーパーマン一人ではない



高度物流”IT”人材の必要性

高度物流人材は、一義ではない

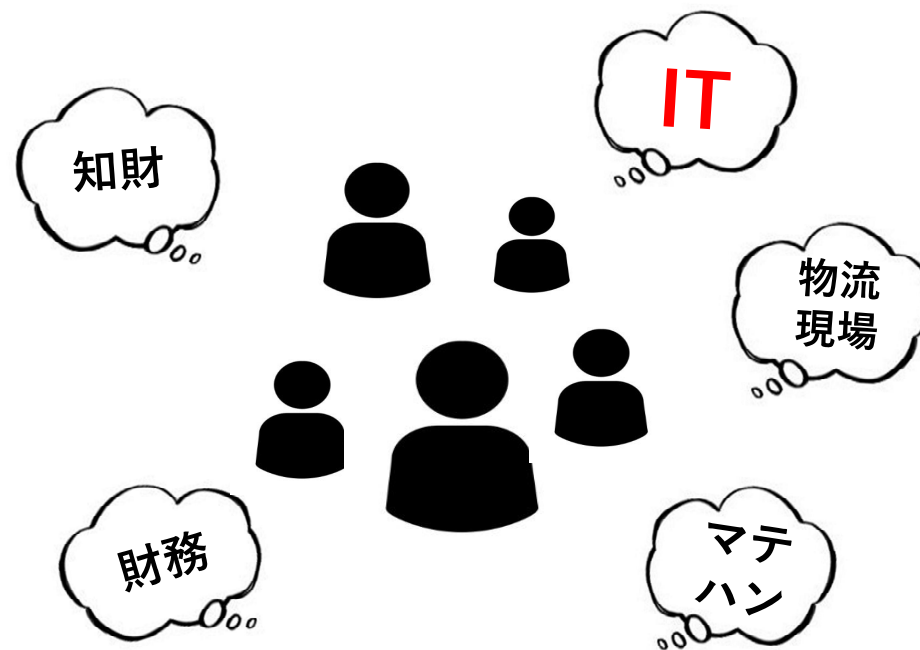
高度物流人材 = 物流業界を対象として様々な分野に軸足をおいた高度知識を持った人材
物流という一つのバリューチェーンを支えるには様々な高度な専門知識が求められる



高度物流”IT”人材の必要性

高度物流人材は、一義ではない

これからの物流において切っても切り離せないのが”IT”であり、
高度物流人材の種別の一つとして「高度物流“IT”人材」の重要性は高まっています



本日の流れ

1. 高度物流”IT”人材の必要性
- 2. 高度物流”IT”人材の定義**
3. 高度物流”IT”人材の確保
4. 高度物流”IT”人材の人間性
5. さいごに

高度物流“IT”人材の定義

「高度」という言葉がどこにかかるかで更に分類される

- A) **高度な物流知識**に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) **高度なITスキル**に軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) **高度な物流人材**と**高度なIT人材**の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材

高度物流”IT”人材の定義

“高度”という言葉がどこにかかるかで更に分類される

- A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材



それぞれの役割に応じた高度性が必要

すべてが高度である必要はないし、ほぼほぼ不可能に近い
IT人材に対してはITの高度性を、物流側には物流の高度性を求めるべき
特に、架け橋となる人材には、物流知識に強みがあるタイプと
IT知識に強みがあるタイプの両方の種類が存在

本日の流れ

1. 高度物流”IT”人材の必要性
2. 高度物流”IT”人材の定義
- 3. 高度物流”IT”人材の確保**
4. 高度物流”IT”人材の人間性
5. さいごに

高度物流”IT”人材の必要性

■ そもそも、この3種類の人材が、どういう場合に必要なのか

A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材

→ 外部パートナー企業と連携しながらDX推進を行っていくケース

B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材

→ 自社内でのPoC、自社開発を行っていくケース（ただしBの人材だけでは厳しい）

C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材

→ グループ企業が多く、本社として情報部門があったり外部パートナー企業との連携が多い中で、グループ横断してDXを推進するケース

高度物流”IT”人材の確保

では、以下の3つの人材をどう獲得していくか

- A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材

高度物流“IT”人材の確保

では、以下の3つの人材をどう獲得していくか

- A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材

では、以下の3つの人材をどう獲得していくか

- A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材



物流人材を、物流IT人材へ『育成』

今いる若手の物流人材に目をつけ、IT知識を醸成してもらい、
物流“IT”人材に育成することが早い
その一つの方法が**出向**

高度物流“IT”人材の確保

では、以下の3つの人材をどう獲得していくか

- A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材

では、以下の3つの人材をどう獲得していくか

- A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材



技術屋の新卒獲得と育成

大学との産学連携や共同研究の活性化が近道

研究室時代に実社会データを使った分析などを経験することで、
物流業界が身近になり親近感が湧くため、興味を持つ学生が増える

では、以下の3つの人材をどう獲得していくか

- A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材



技術屋の新卒獲得と育成

大学との産学連携や共同研究の活性化が近道

そのためにも、国による補助金制度などが加速すると良い

では、以下の3つの人材をどう獲得していくか

- A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材



技術屋の新卒獲得と育成

大学との産学連携や共同研究の活性化が近道

獲得後、物流現場や物流人材との関わりを増やせば、必然的に物流知識は付く

高度物流“IT”人材の確保

では、以下の3つの人材をどう獲得していくか

- A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材

では、以下の3つの人材をどう獲得していくか

- A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材



1) 中途採用で即戦力

この人材の獲得が最も難しく、可能であれば中途で即戦力を採用したい
物流現場の知識とITスキルのバランスを持つ人材を積極的に発掘することが
企業にとっての競争力強化につながる

では、以下の3つの人材をどう獲得していくか

- A) 高度な物流知識に軸足を置き、IT知識も一定レベルある高度物流IT人材
- B) 高度なITスキルに軸足を置き、物流知識も一定レベルある高度物流IT人材
- C) 高度な物流人材と高度なIT人材の架け橋（翻訳者/要件定義）となる高度物流IT人材



2) Bの人材をCにシフト

技術畑出身者の中から、物流現場への理解や様々なステークホルダーとのコミュニケーション能力が高い人材がいれば、架け橋となる人材に育成していくことが可能
ただし、Cならではの知識が必要なため、Sierなどへの出向や大規模システムの設計、導入経験がほしい

本日の流れ

1. 高度物流”IT”人材の必要性
2. 高度物流”IT”人材の定義
3. 高度物流”IT”人材の確保
- 4. 高度物流”IT”人材の人間性**
5. さいごに

■ どのような人物が、高度物流IT人材の候補として適切なのか

1. 社会貢献欲がある
2. 現場が好き / 人と話すことに抵抗がない
3. 知的好奇心がある

技術畑出身者は知的好奇心がある場合が多いので現場好きであることを重視し、
物流畑出身者は知的好奇心の有無を重視するのが良い

本日の流れ

1. 高度物流”IT”人材の必要性
2. 高度物流”IT”人材の定義
3. 高度物流”IT”人材の確保
4. 高度物流”IT”人材の人間性
5. **さいごに**

高度物流IT人材の市場価値の高さ

高度物流IT人材の育成と獲得は、企業の競争力強化のみならず、日本の物流産業全体の発展においても重要
今後、間違いなく、ますます市場価値が上がっていく人材であるので、どんどんそれを発信していきたい

個人的な経験からの示唆

物流業界は、数理系のエンジニアにとって知的好奇心を満たす面白い対象領域
まずは知ってもらう、まずは絡んでもらう、ことをはじめれば、確実にアトラクトしていける



— 世界のラストワンマイルを最適化する —